

地方税収格差と ふるさと納税の是非

名古屋大学 柳原ゼミ（祖父江・山北・日笠・山内）

中部経済学インターゼミ

開催地：オンライン

2020/11/28

目次

1. 研究に至った背景
2. 地方税
3. 愛知県内の税収格差
4. 格差是正の必要性
5. ふるさと納税
6. ふるさと納税の効果
7. 終わりに

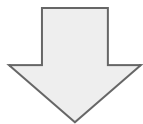
1. 研究に至った背景



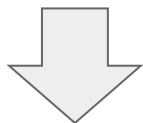
地方衰退の現状 コロナウイルスによる打撃



元々地方が持つ財源基盤の脆弱さが
このような事態を招いているのでは？



地方の財源に寄与している「ふるさと納税」が
格差を是正する制度に成り得るのではないか



地方税収の現状と、財源格差を是正するための
「ふるさと納税」の妥当性



2. 地方税

地方税とは

- ・ 概要：地方における行政府が課税し、地方における行政府に対して納付する税
- ・ 分類：都道府県税と市町村税
- ・ 税収：税収総額の約4割（約40兆円）

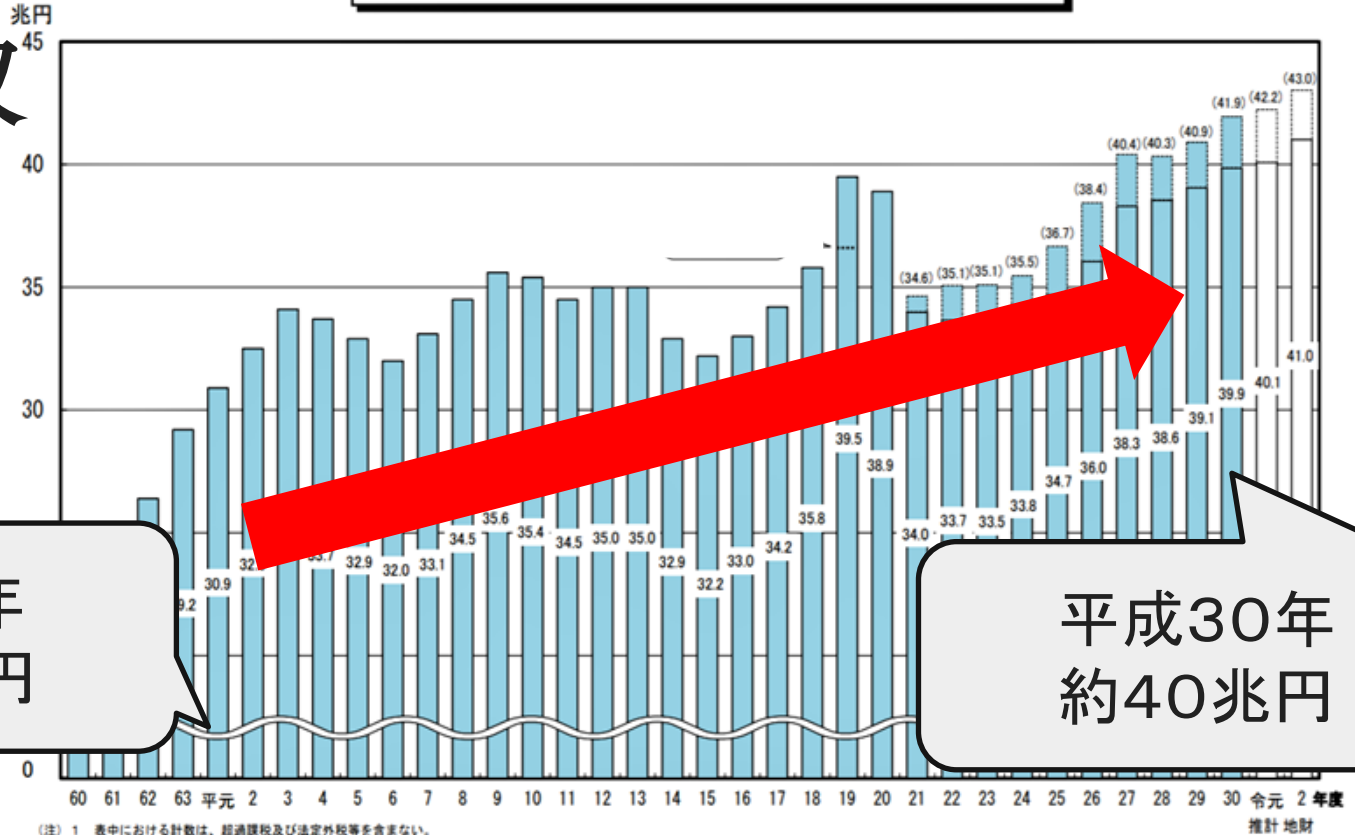
地方税（道府県税）	普通税	直接税	道府県民税（住民税）・個人事業税・法人事業税（外形標準課税）・自動車税・鉱区税・固定資産税（特例分等）
		間接税	地方消費税・不動産取得税・道府県たばこ税・ゴルフ場利用税・軽油引取税
	目的税	直接税	狩猟税・水利地益税
地方税（市町村税）	普通税	直接税	市町村民税（住民税）・固定資産税・軽自動車税・特別土地保有税・鉱産税
		間接税	市町村たばこ税
	目的税	直接税	事業所税・都市計画税・水利地益税・共同施設税・宅地開発税・国民健康保険税
		間接税	入湯税

地方税収

・年々増加

平成元年
約30兆円

平成30年
約40兆円



(注) 1 表中における計数は、超過課税及び法定外税等を含まない。
 2 平成30年度までは決算額、令和元年度は推計額(R1:12時点)、令和2年度は地方財政計画額である。
 3 括弧書きは、平成21年度以降、国から都道府県に対して課与されている地方法人特別課税(～R1)及び特別法人事業課税(R2～)を含めたものである。

全国の地方税収

全国的な
格差がある

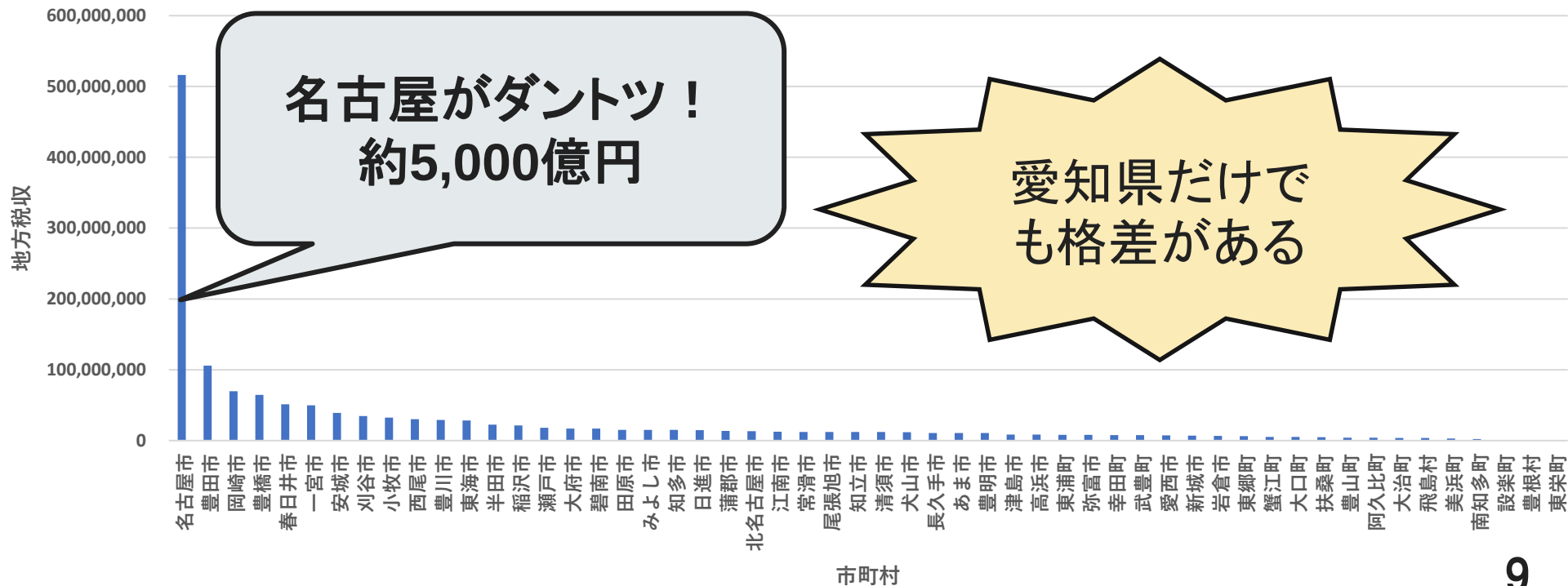
東京がダントツ！
約5兆円

鳥取県
約657億円



愛知県の地方税収

地方税収



3. 愛知県内の税收格差

格差を計るために

- ・ ジニ係数
 - ・ 所得格差を示す指標
- 今回は税收格差に応用



ジニ係数

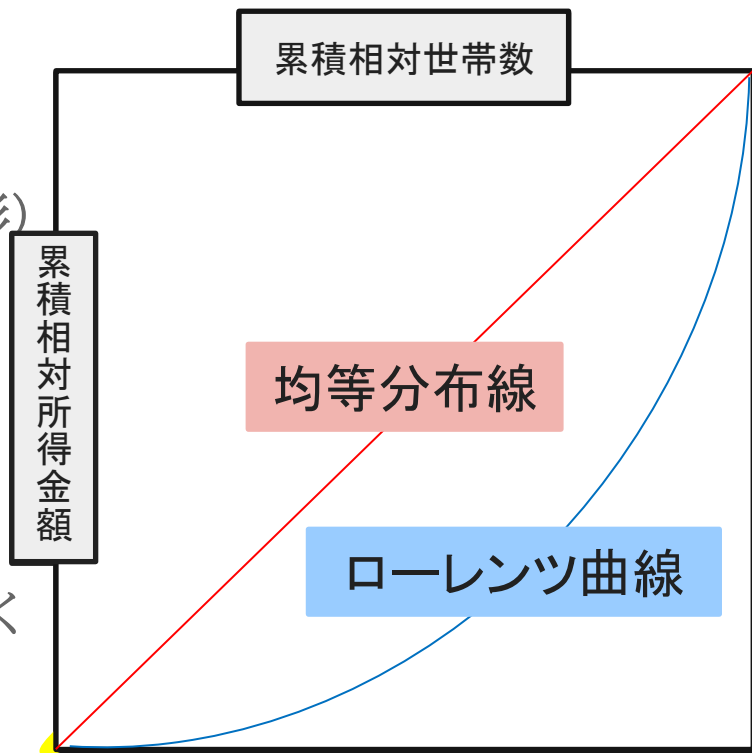
- 0～1の間で税収格差の度合いを示す
 - 完全な税収分配が出来ている場合は0
 - 1つの自治体が税収を独占している場合は1
- ローレンツ曲線を用いる



0:完全平等
1:独占

ジニ係数の求め方

- ジニ係数
= 均等分布線とローレンツ曲線の間の面積
÷ 均等分布線より下の面積（三角形）
- **完全平等**の場合は、ローレンツ曲線と均等分布線が一致するためジニ係数は **0**
- **不平等**になるにつれてローレンツ曲線は均等分布線から離れ、ジニ係数は **1** に近づく



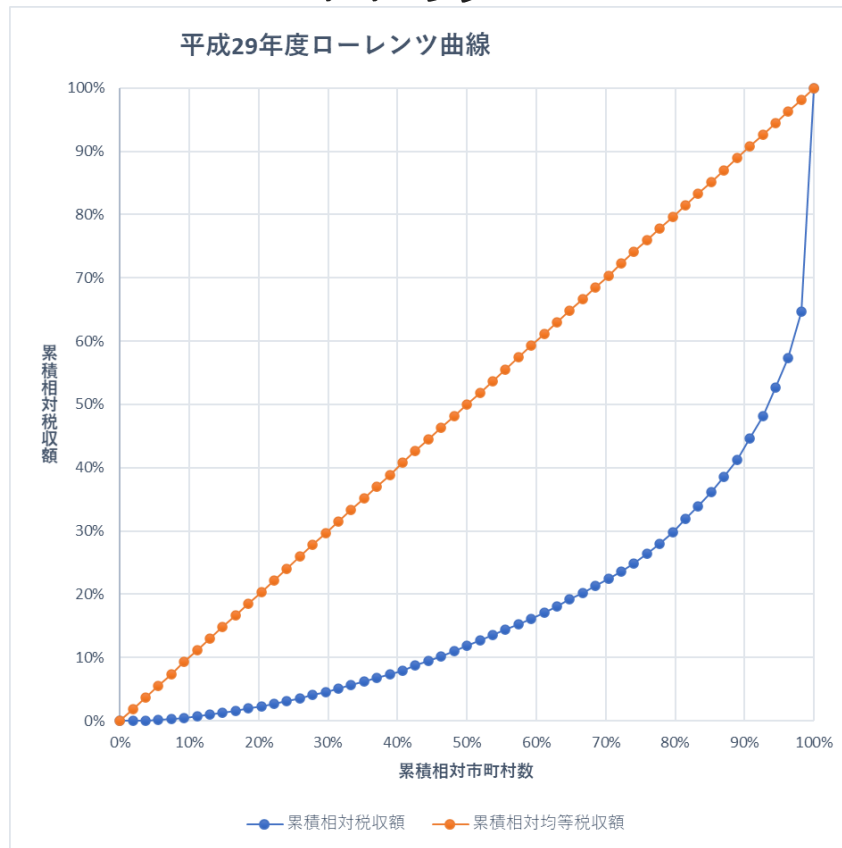
愛知県内の税収のジニ係数①

平成29年度における

地方税収の、

県内54市町村間の不平等度

→ジニ係数：0.651



愛知県内の税収のジニ係数②

市町村数合併完了後の平成24年度における

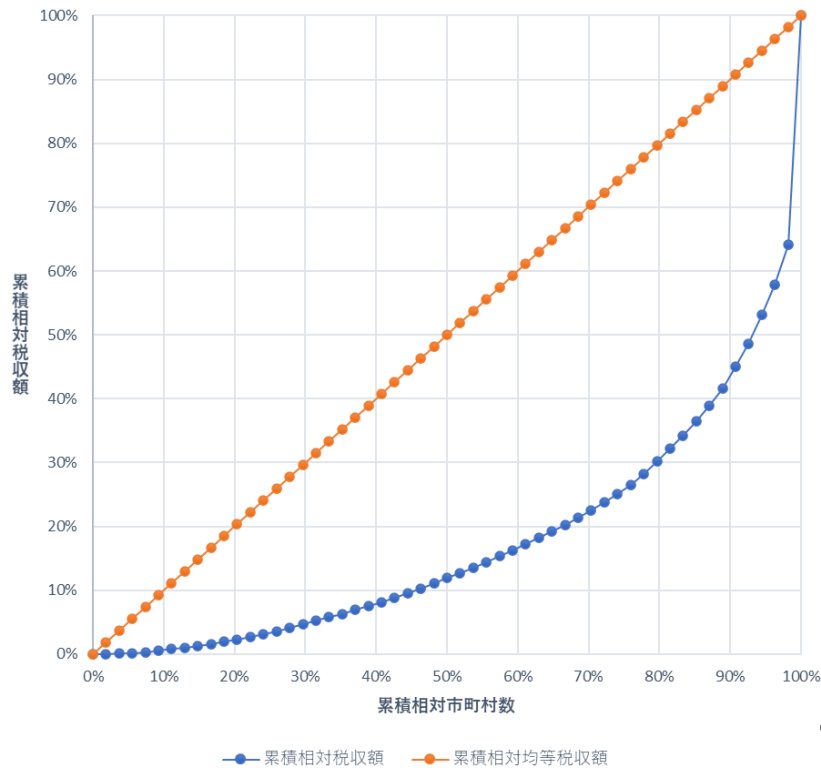
地方税収の

県内54市町村間の不平等度

→ジニ係数：0.650

⇒5年間での変化はほぼ無し

平成24年度ローレンツ曲線



税収格差の原因

- 政治・経済・文化の全集中
情報・人材の一極集中

→ 地方の人口減少

- 税制度の変更



<http://www.vill.toyone.aichi.jp/cms/?p=1308>

<https://jouhou.nagoya/rayard-hisaya-odori-park/>

4. 格差是正の必要性

格差を是正する必要性①

地域に関わらず、安定的な行政サービスを提供するため

行政サービスの例：医療、交通インフラ、情報



地域間の税収格差



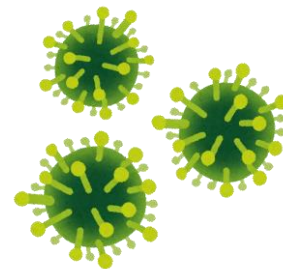
地方の人口格差

行政サービスの格差

格差を是正する必要性②

万が一の危機による存続リスクを軽減させるため

例：コロナウイルス、災害



地域間の税収格差



存続リスクの格差



5. ふるさと納税

ふるさと納税の理念

①お金の使い方への意識を感化・納税の大切さを自分事として

捉える人の増加

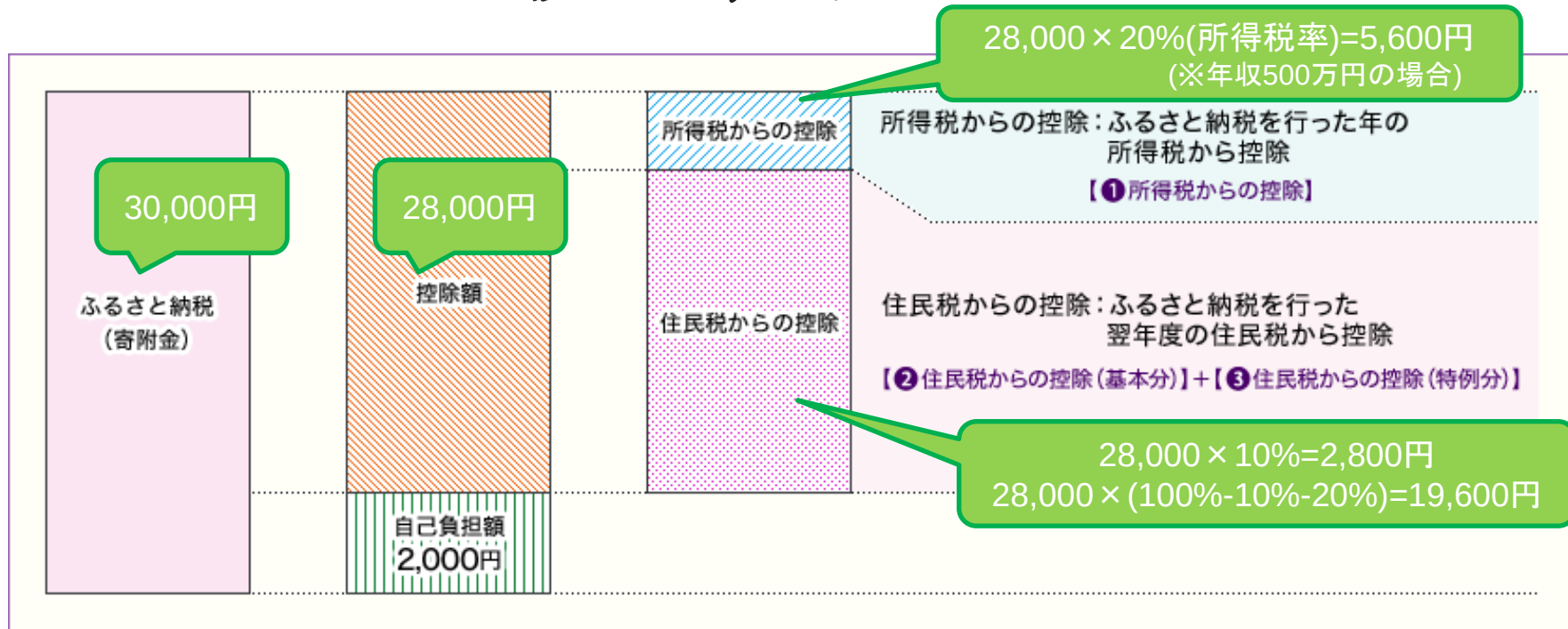
②人を育て、自然を守る地方の環境整備

③自治体間での競争を推進

引用元：「総務省 ふるさと納税ポータルサイト ふるさと納税の理念」（2020年9月11日閲覧）

https://www.soumu.go.jp/main_sosiki/jichi_zeisei/czaisei/czaisei_seido/furusato/policy/

ふるさと納税の仕組み



引用元：「総務省 ふるさと納税ポータルサイト ふるさと納税の仕組み」(2020年9月11日閲覧)

https://www.soumu.go.jp/main_sosiki/jichi_zeisei/czaisei/czaisei_seido/furusato/mechanism/about.html

ふるさとと納税受入額と地方税収

ふるさとと納税寄付額・地方税収(平成29年度)



6. ふるさと納税の効果

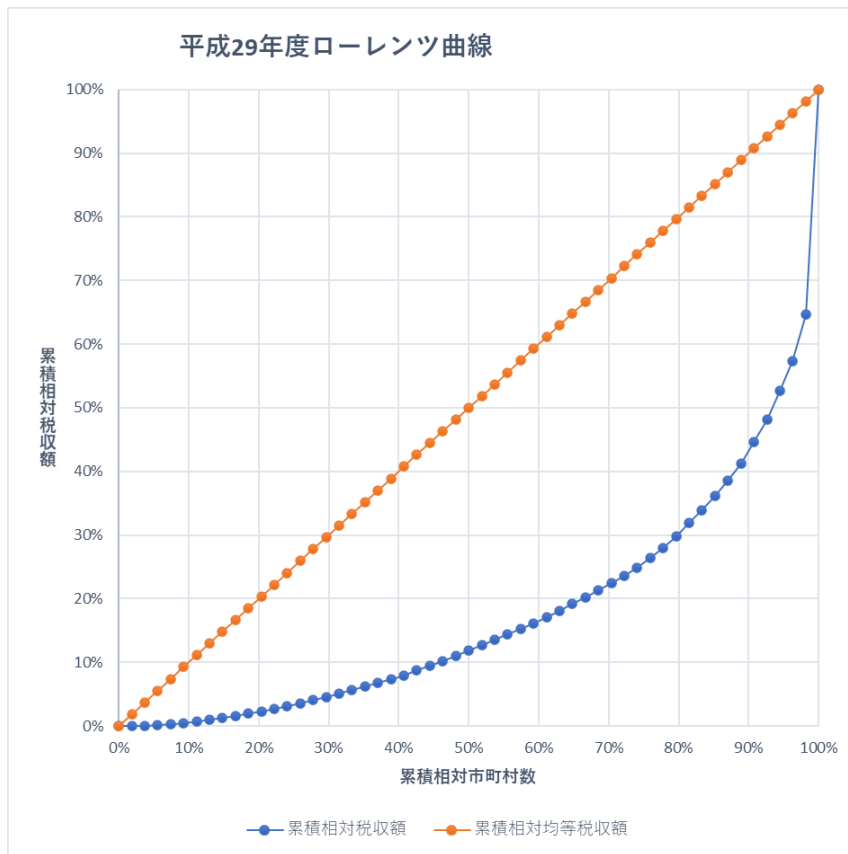
ジニ係数による比較（ふるさと納税無）

平成29年度における

地方税収の、

県内54市町村間の不平等度

→ジニ係数：0.651



ジニ係数による比較（ふるさと納税有）

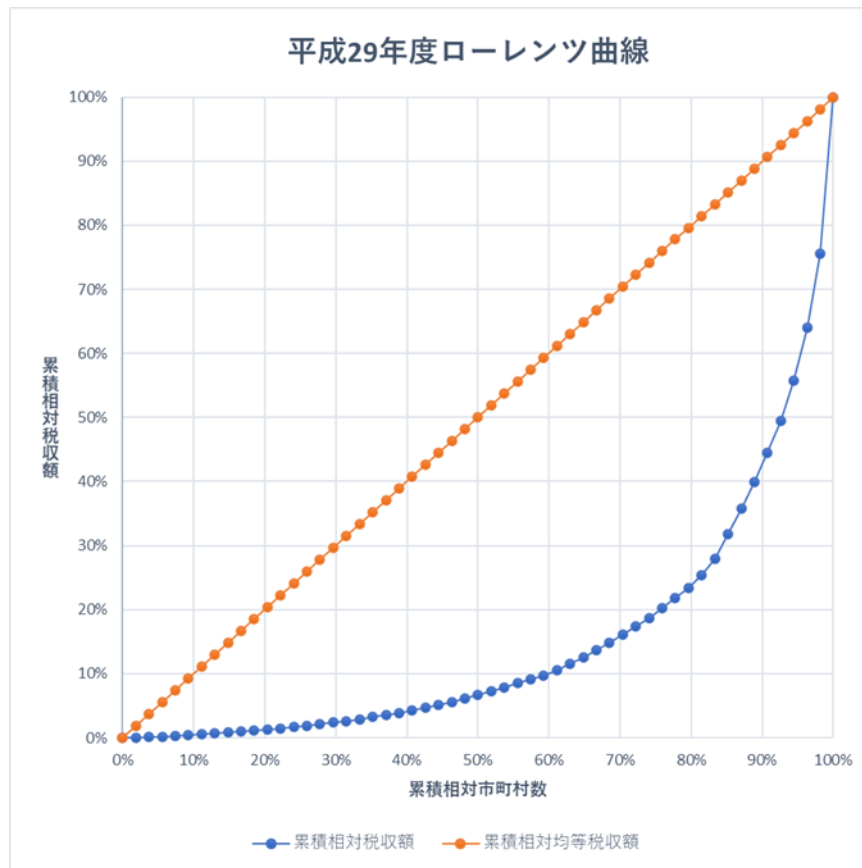
平成29年度における

地方税収＋ふるさと納税に

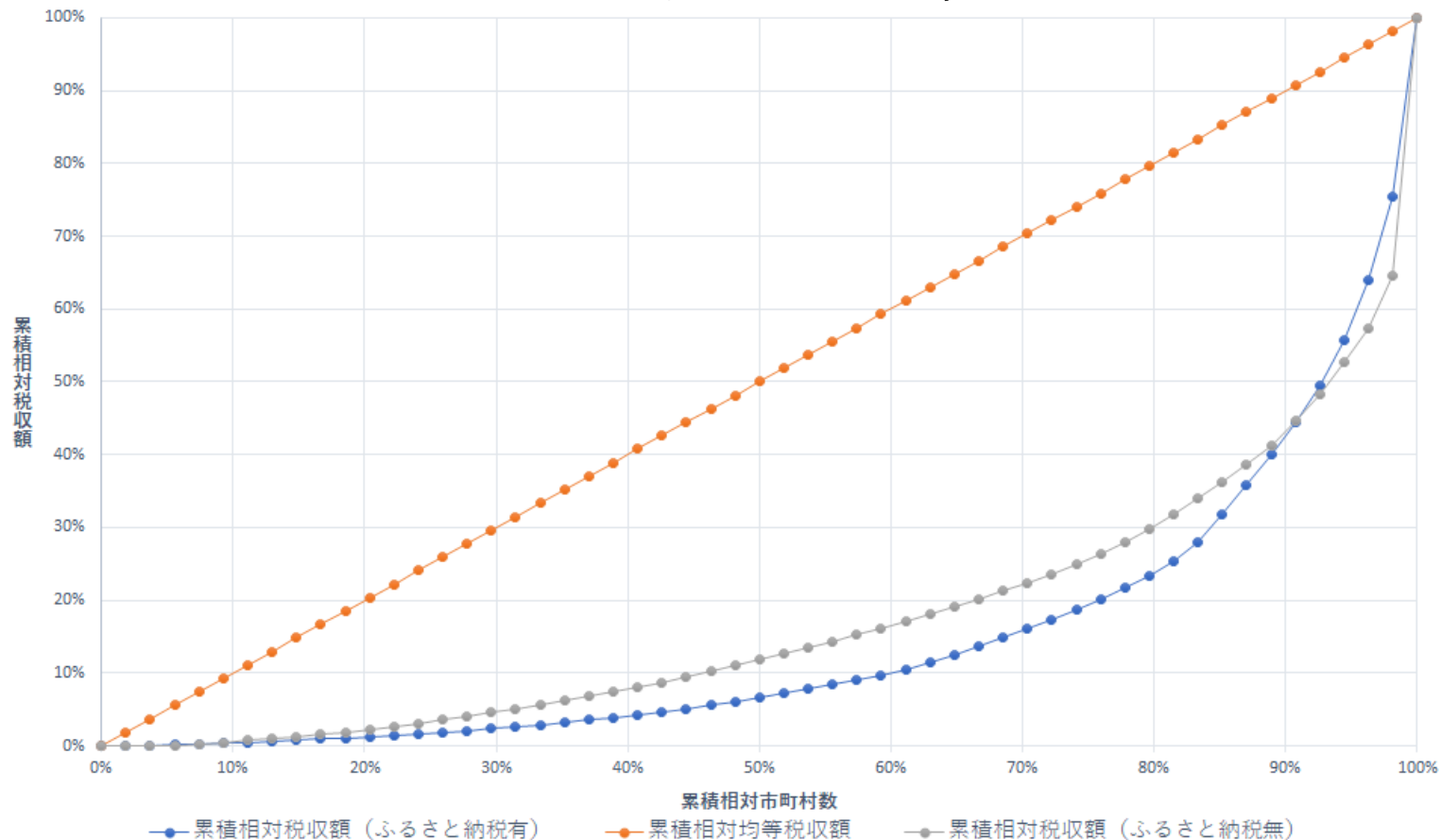
よる寄付金での、

県内54市町村の不平等度

→ジニ係数：0.708



ローレンツ曲線の比較



ジニ係数による比較

ふるさと納税なし：0.651 ⇔ ふるさと納税あり：0.708

→ ふるさと納税によって不平等拡大？

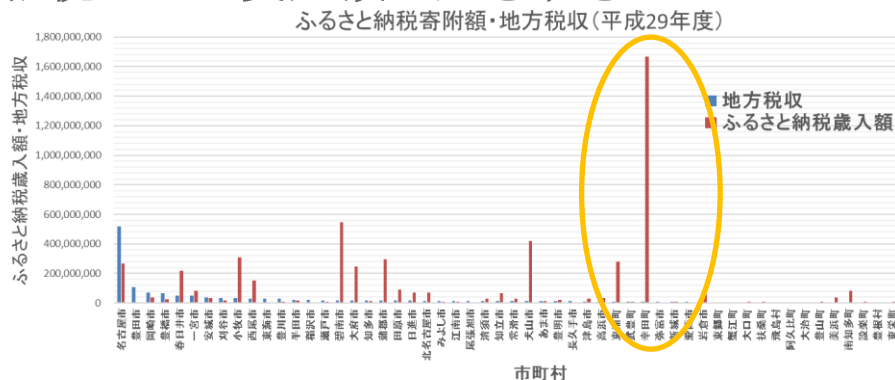
→ 考えられる原因・・・幸田町のふるさと納税による受入額が大きすぎることに

幸田町 1,667,590,683円

愛知県平均 9,665,016円

→ 平均の約172倍

→ 幸田町を異常値扱いして、幸田町抜きで改めて比較



ジニ係数による比較（ふるさと納税無）

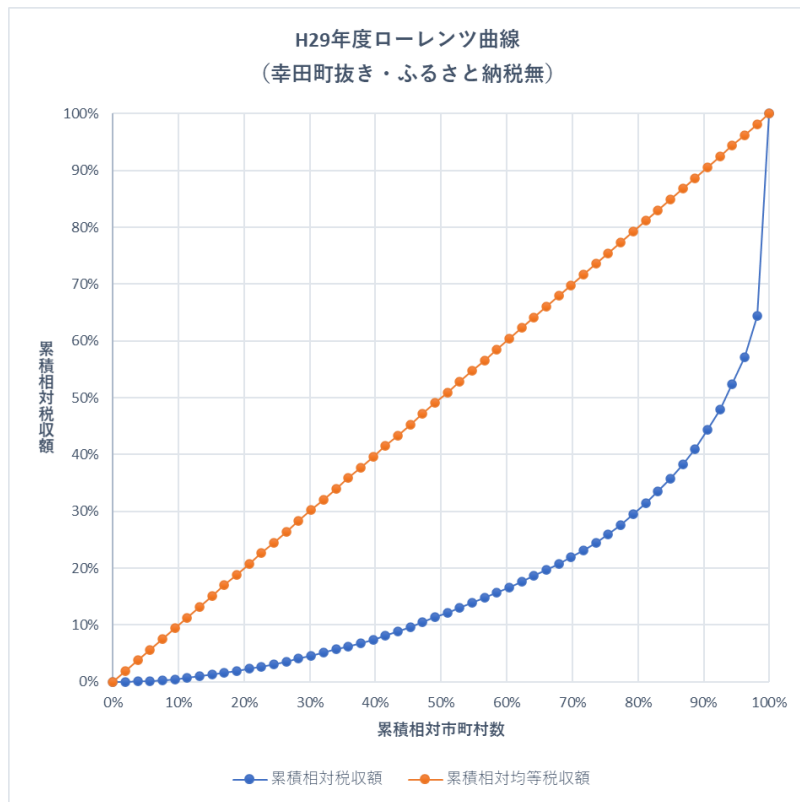
平成29年度における

地方税収の、

県内53市町村間（幸田町抜き）の

不平等度

→ジニ係数：0.653



ジニ係数による比較（ふるさと納税有）

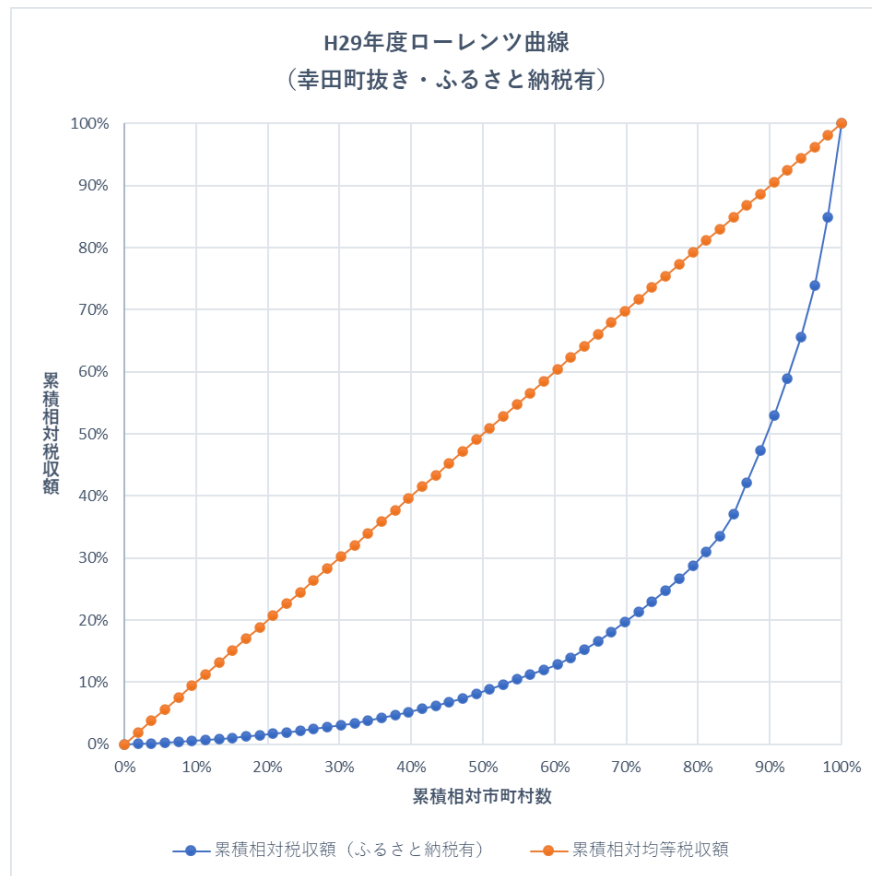
平成29年度における

地方税収＋ふるさと納税に

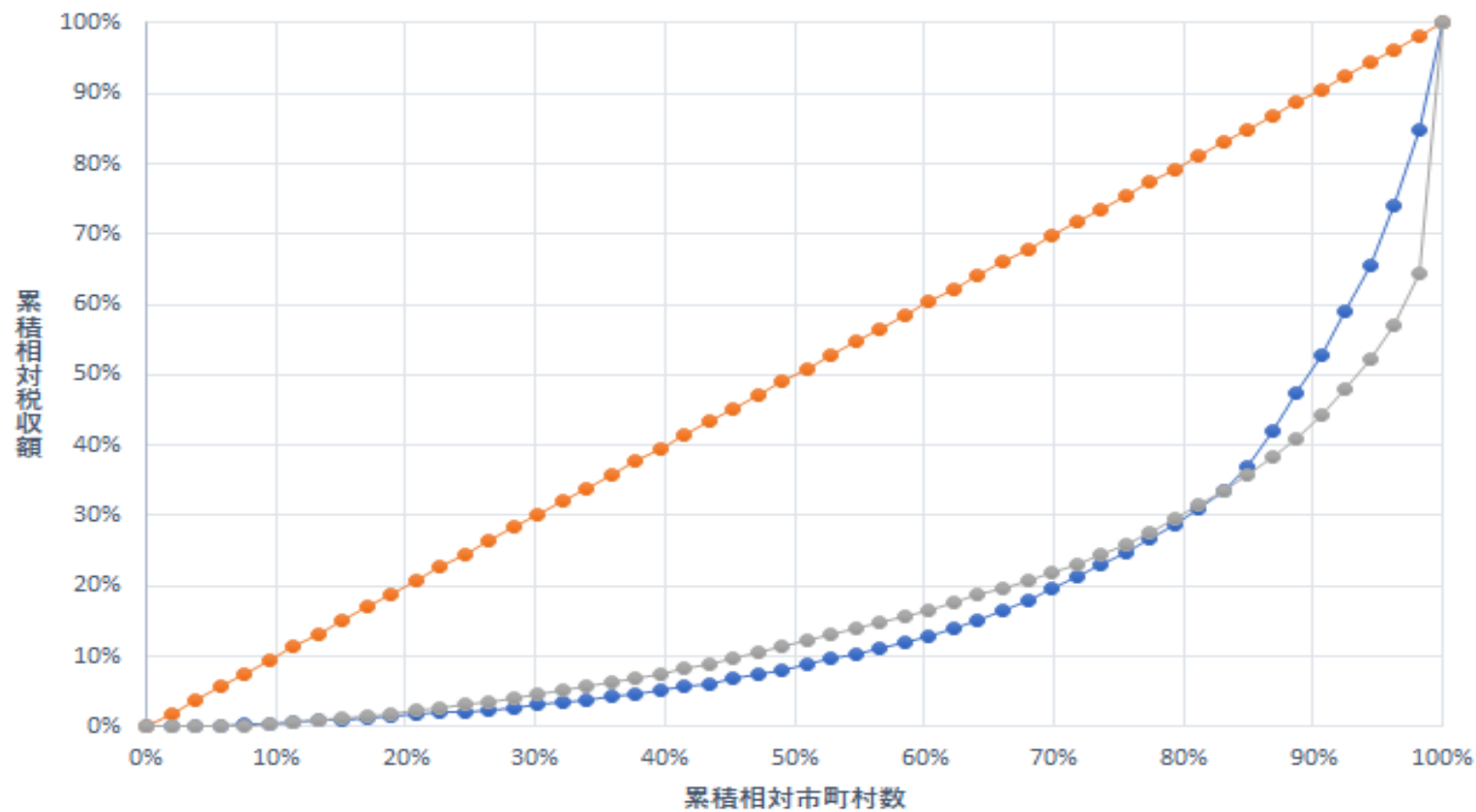
よる寄付金での、

県内53市町村の不平等度

→ジニ係数：0.650



ローレンツ曲線の比較



● 累積相対税収額 (ふるさと納税有) ● 累積相対均等税収額 ● 累積相対税収額 (ふるさと納税無)

受入純額による比較

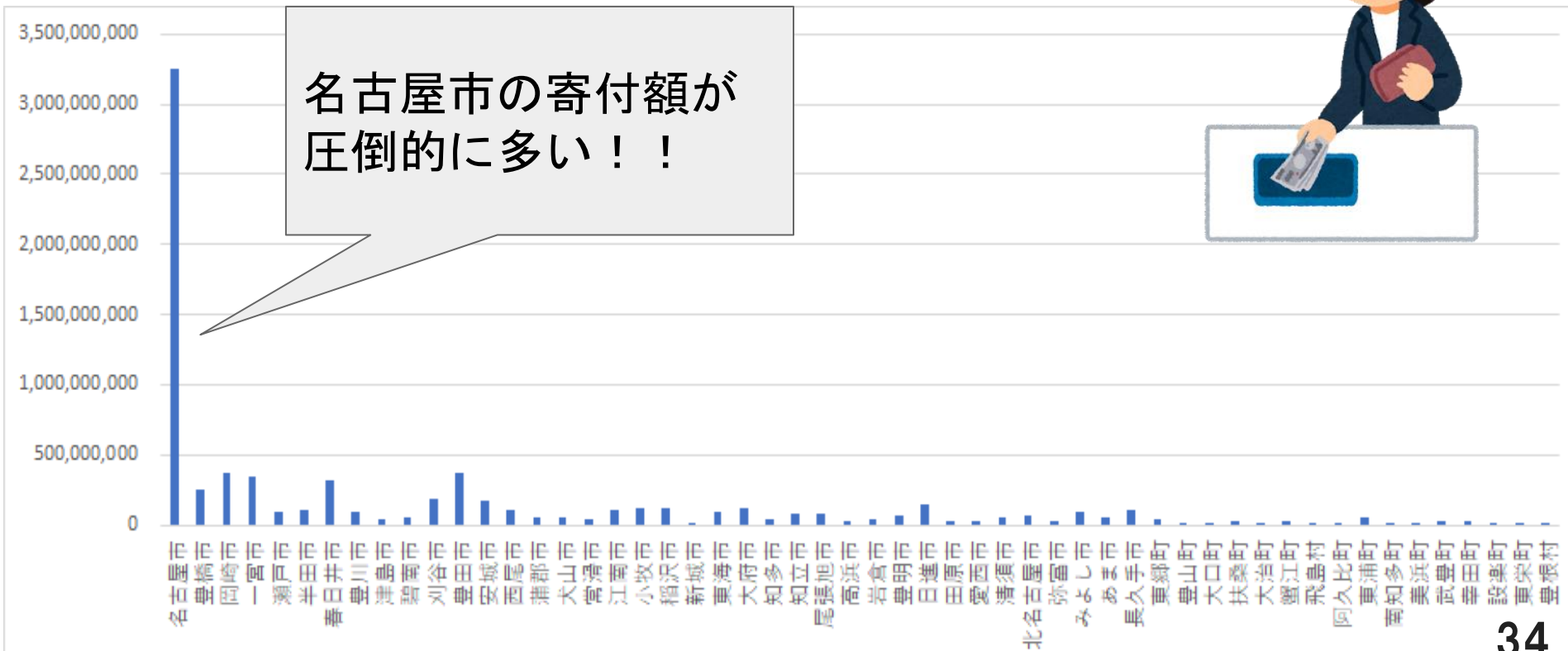
ジニ係数では、ふるさと納税の**受入額**で比較

→ 幸田町に多くの受入があることが判明

では、市町村ごとの**寄付額**は？



ふるさと納税 寄付額



ふるさと納税 受入額



ふるさと納税

受入純額



ふるさと納税 受入純額



受入を必要とする都市に、配分されていない！

7. 終わりに

検証結果

- ・ ふるさと納税は、税収格差是正の観点である一定程度の効果はある
- ・ しかしふるさと納税によって、ある地域だけが過度な寄付を受けるようなことになると格差は拡大してしまう
- ・ より必要としている町・村への寄付額が少ない

1 億円以上：9 市 1 町 ↔ **500**万円以下：7 市 3 町 2 村

今後の課題

- ・ ふるさと納税以外の税収格差を是正しうる要因を調査する
- ・ 愛知県以外の他地域も含めたときの、ふるさと納税の税収格差是正の妥当性を調べる（ジニ係数の算出）
- ・ 税源をより必要とする地域に税収を効率的に分配できる施策を考える